

### ハーマン・デイリー ( ) の3原則

#### エコロジー経済学者

生可能な資源の消費ペースは、その再生ペースを上回ってはならない。  
再生不可能な資源の消費ペースは、それに代わりうる持続可能な再生可能資源が開発されるペースを上回ってはならない。  
汚染の排出量は、環境の吸収能力を上回ってはならない。

### ナチュラルステップ ( ) の4原則

スウェーデンの小児癌の専門医であったカール・ヘンリク・ロベール博士の提唱によって1989年に発足し、世界的な広がりをもつ環境団体

自然の中に地殻からの物質の濃度が増えつづけることがない。  
自然の中に人間社会で製造した物質の濃度が増えつづけることがない。  
自然が乱獲や開発によってその物理的な基盤を損ない続けることがない。  
世界中の人々のニーズを満たすために資源を効率よく公平に利用する。

### EUレポート「都市と環境」で提唱された持続可能な都市を目指した都市政策の原則

(CITY AND ENVIRONMENT [EUROPEAN COMMISSION, 1994])

多様な人々、活動が共生できるよう、都市地域の用途混在を奨励する。  
都市の地域性と歴史との重要な関係を再生し、都市としてのアイデンティティを維持・強化する。  
都市の周辺部への土地利用の拡大よりも、活用されていない市街地に、都市の成長や開発のチャンネルを合わせる。  
都市地域での非公共交通を減らす。  
オープンスペースや緑地域の質を維持する。  
エネルギーの節約や資源の高度利用に関する取り決めを都市管理政策に取り入れる。  
都市の住民に市行政組織や環境問題のマネジメントの決定へ関与させる。

注：各種資料により(株)エックス都市研究所作成